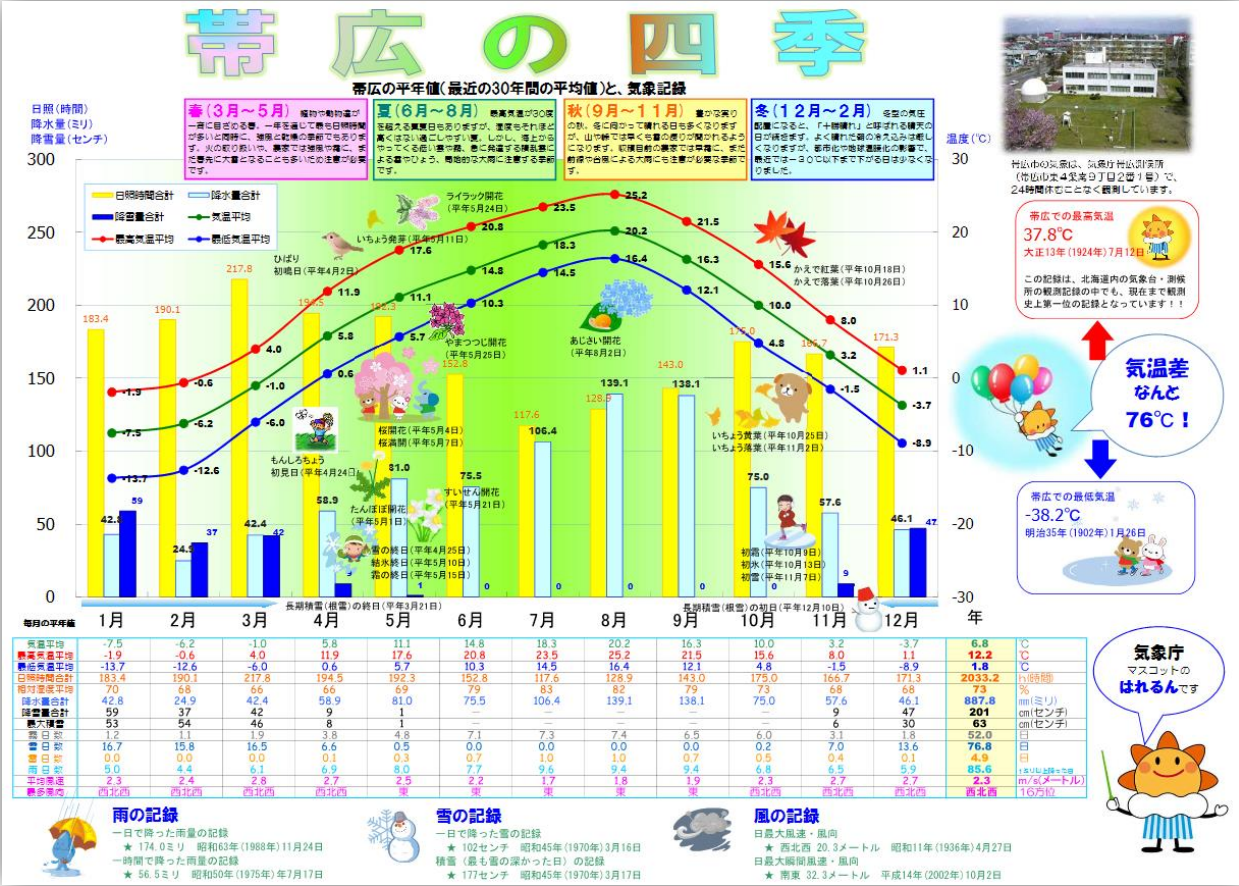


十勝の大雪についてと今夏の天候の見通し

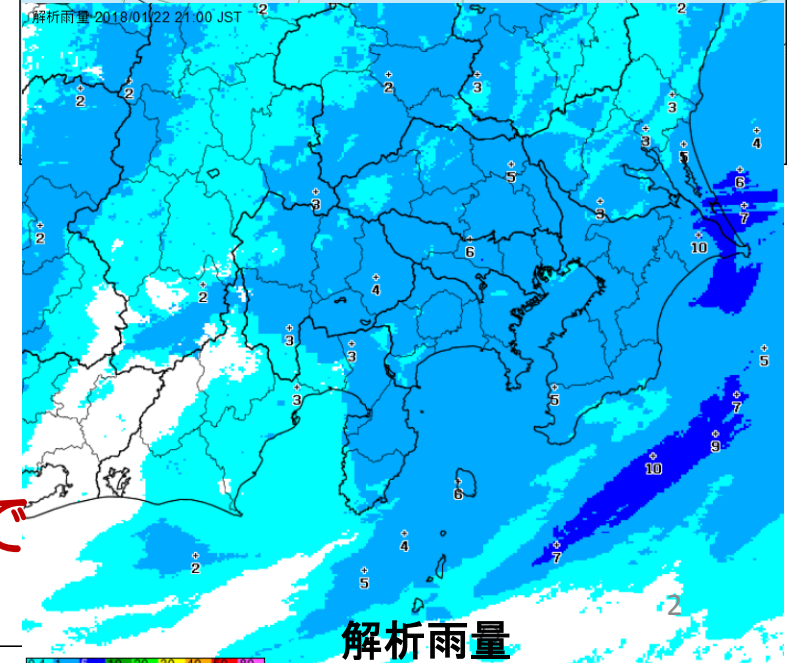
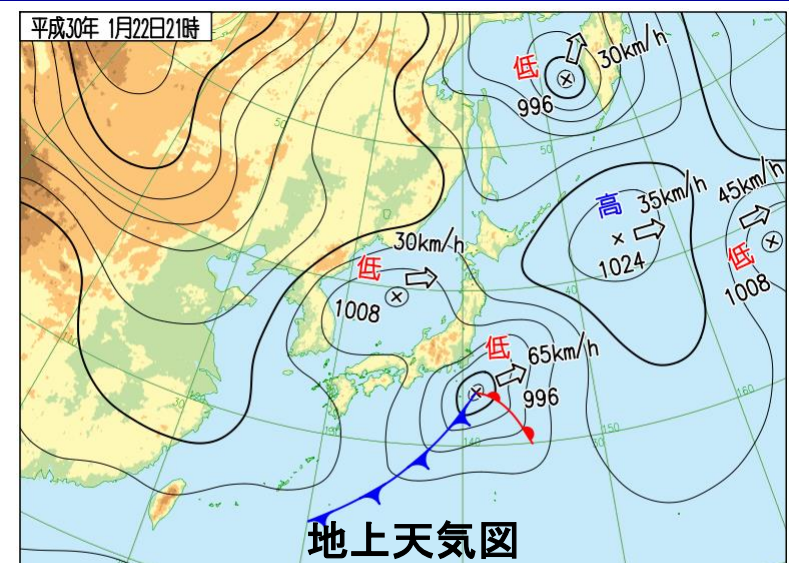
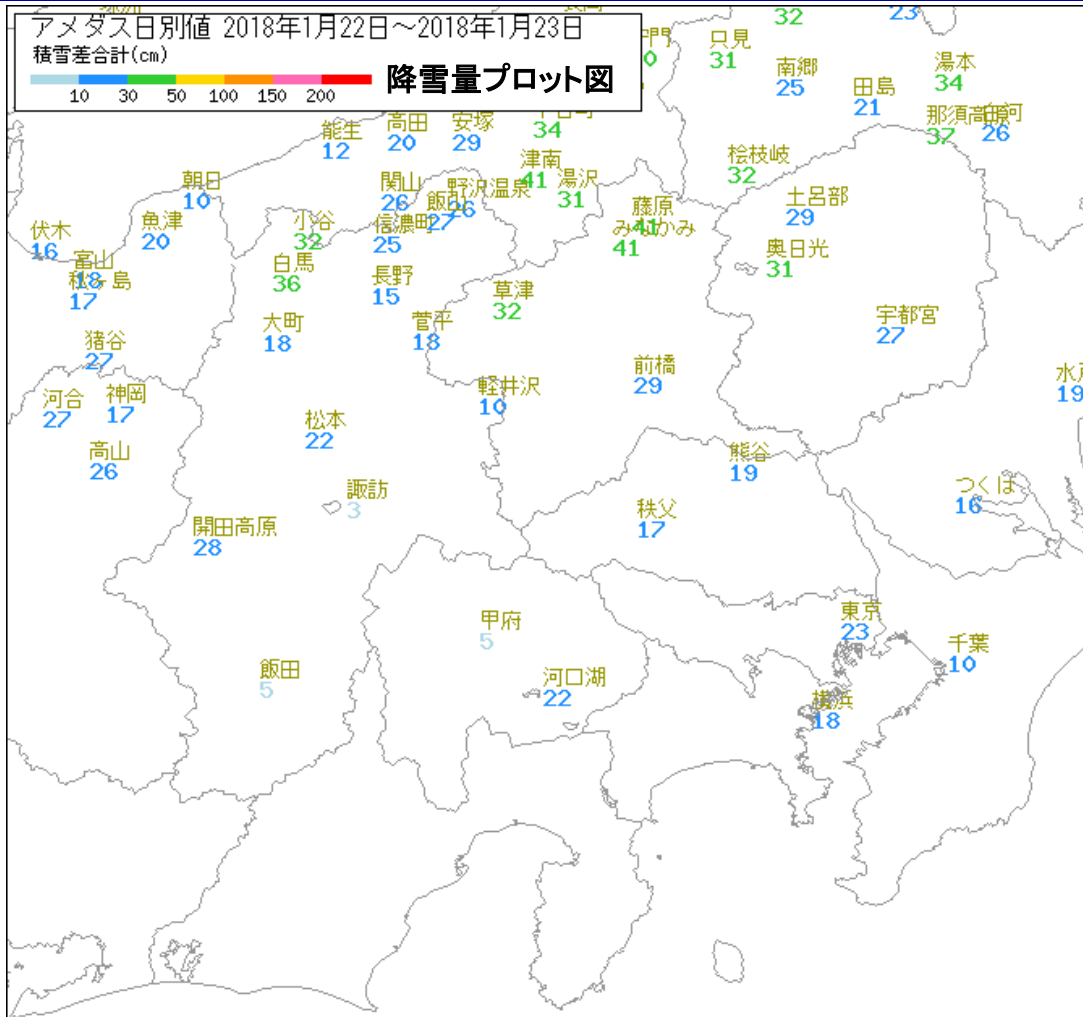


この図は帯広測候所のホームページに掲載しています。

気象庁 帯広測候所
平成30年2月26日

今冬にTVなどで大きく取り上げられた大雪

2018.1.22-23首都圏(南岸低気圧)



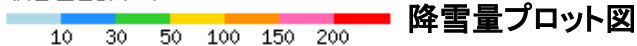
首都圏で大雪、交通混乱 東京都心で
4年ぶり20センチ超

今冬にTVなどで大きく取り上げられた大雪

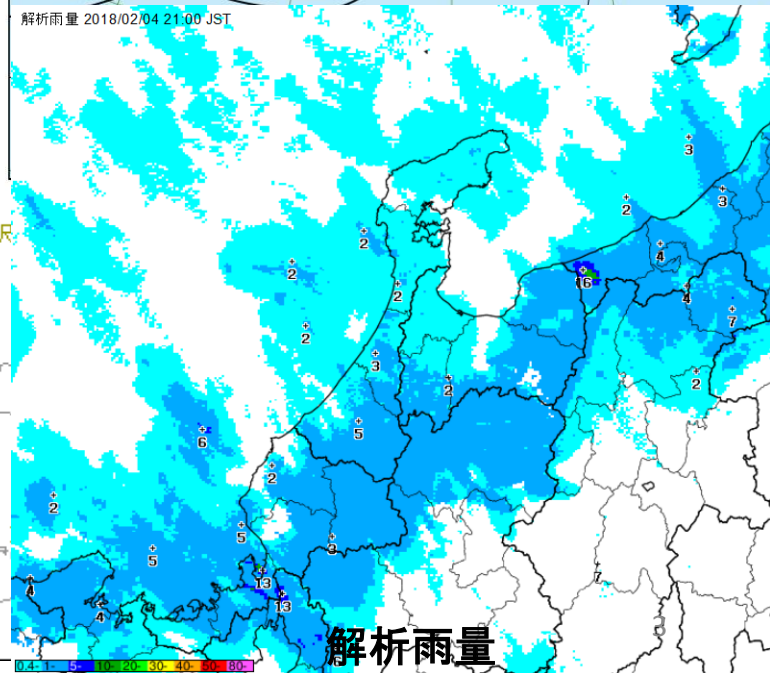
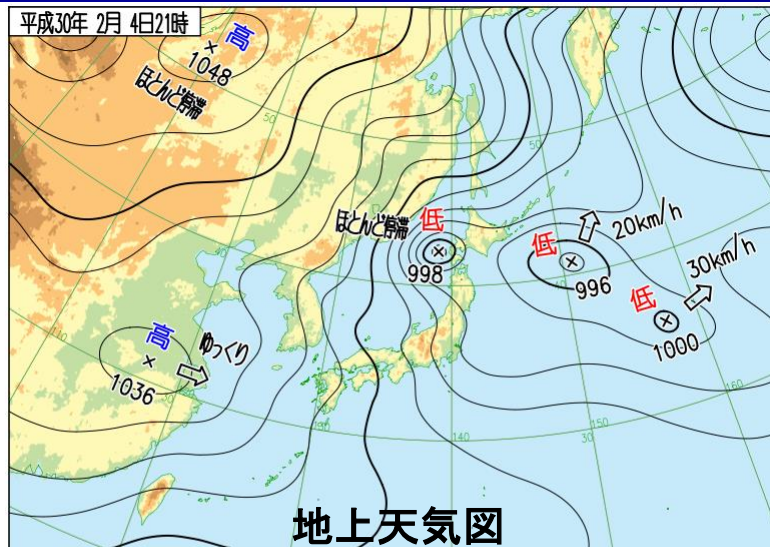
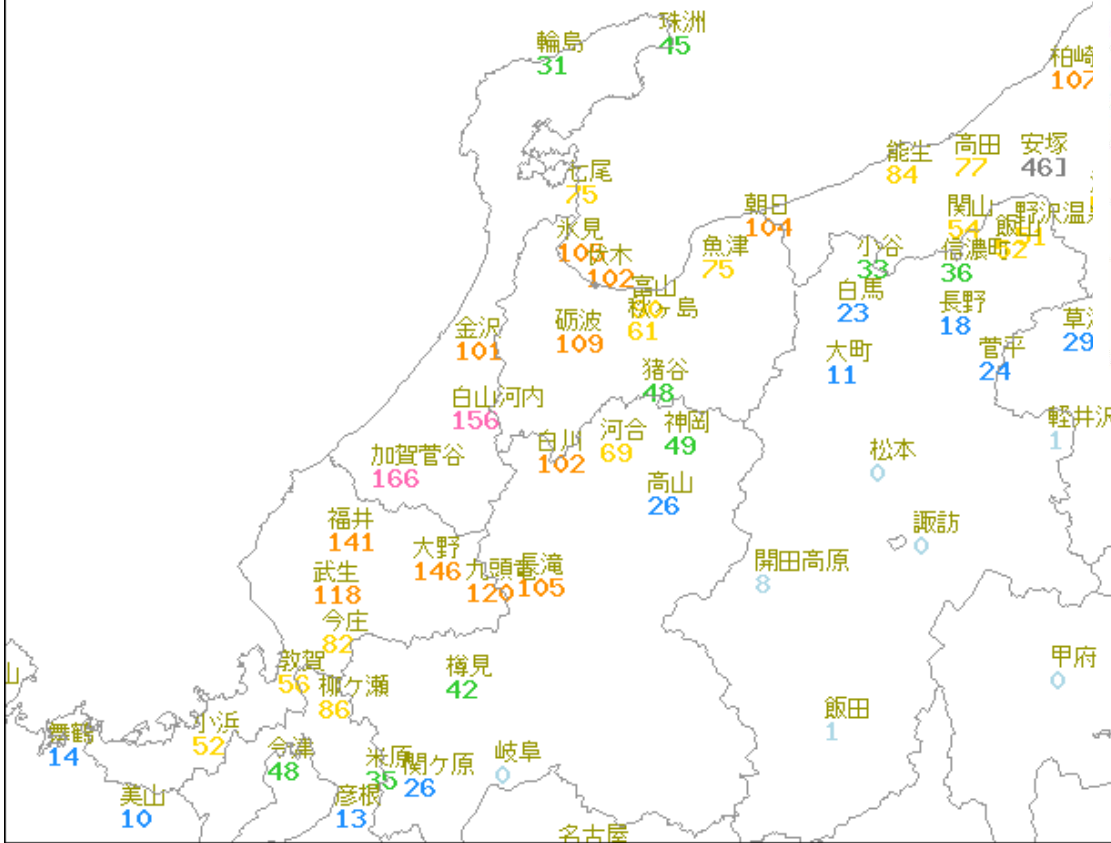
2018.2.4-7北陸地方(記録的な強い寒気と冬型の気圧配置)

アメダス日別値 2018年2月4日~2018年2月7日

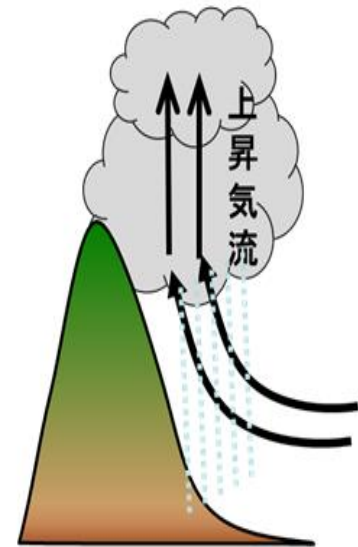
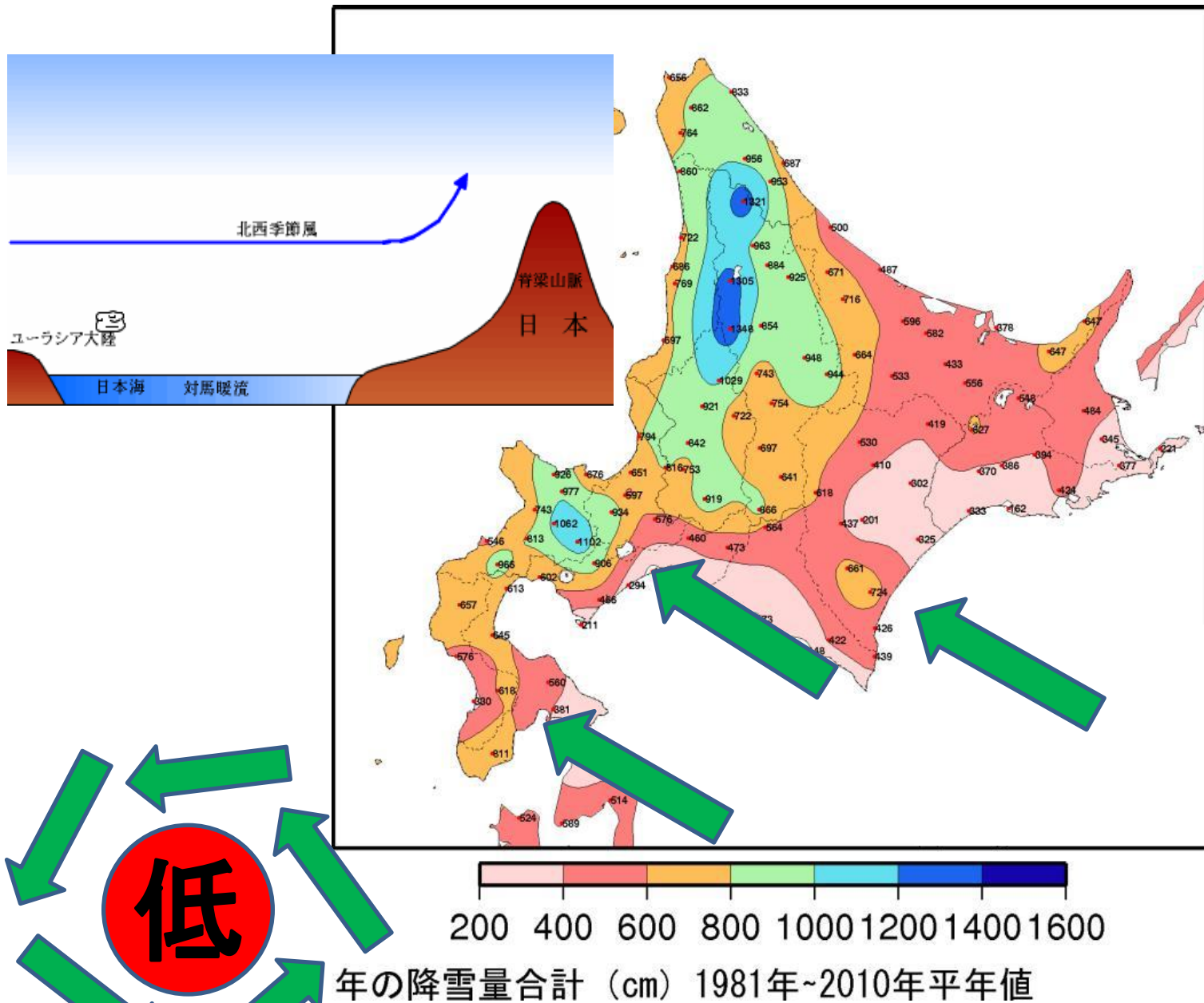
積雪差合計(cm)



福井県内の国道で約1000台以上の車が立往生



北海道の雨や雪が多くなる地域の特徴



北海道のドカ雪ベスト10

順位	地点名	市町村	降雪の深さ日合計 (観測年月日)	統計開始	官署アメダス	その地点での 順位
1位	おびひろ 帯広	帯広市	102 cm (1970/03/16)	1953/1-	官署	1位
2位	ひろお 広尾	広尾町	96 cm (1986/01/10)	1958/1-	官署・特地	1位
3位	おといねっぶ 音威子府	音威子府村	95 cm (2013/01/26)	1982/11-	アメダス	1位
4位	きたみえさし 北見枝幸	枝幸町	94 cm (1958/03/03)	1953/1-	官署・特地	1位
5位	おびひろ 帯広	帯広市	92 cm (1991/01/18)	1953/1-	官署	2位
6位	かみさつない 上札内	中札内村	89 cm (2006/03/29)	1984/10-	アメダス	1位
7位	にしおこっぺ 西興部	西興部村	88 cm (2012/12/09)	1985/10-	アメダス	1位
8位	おびひろ 帯広	帯広市	87 cm (1969/02/01)	1953/1-	官署	3位
9位	ひろお 広尾	広尾町	87 cm (1970/03/16)	1958/1-	官署・特地	2位
10位	たきのうえ 滝上	滝上町	86 cm (2012/12/09)	1984/10-	アメダス	1位

※ アメダスは気象官署と特地気象観測所に比べて
統計期間が短いので留意願います。



十勝地方の大雪

十勝の大雪はほぼ全て低気圧の通過によるものです

①日本海低気圧パターン



②三陸沖低気圧パターン



③二つ玉低気圧パターン

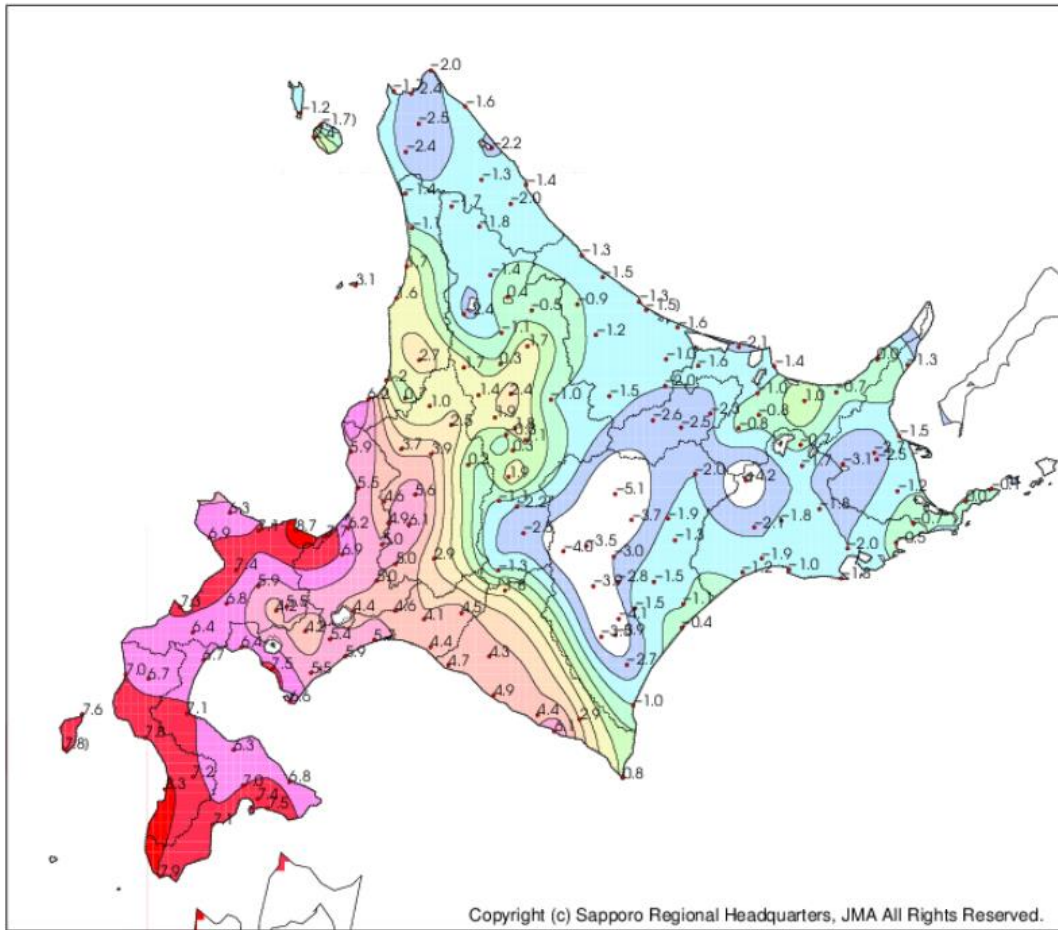


降雪量は低気圧のコースや低気圧の発達具合によりますが、
②と③は低気圧が南から水蒸気をたくさん運んでくるため、
降雪量が特に多くなることがあります。

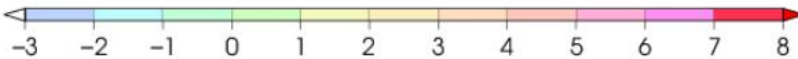
十勝地方の大雪

平成28年(2016)2月29日

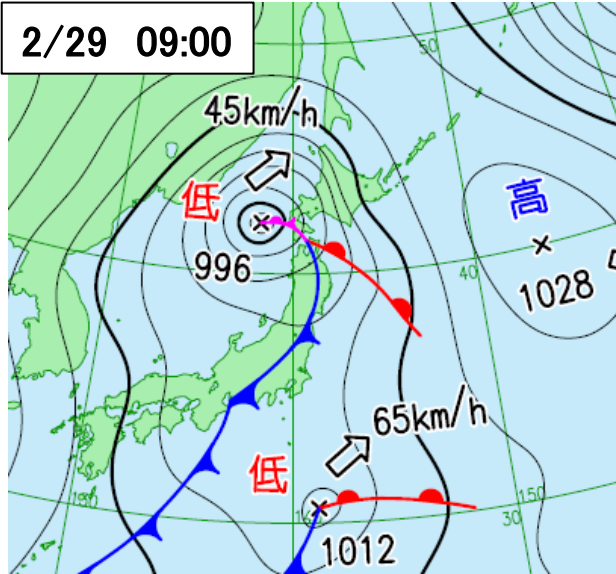
最高気温(°C) 2016/02/29 00:00 - 2016/03/01 00:00



Copyright (c) Sapporo Regional Headquarters, JMA All Rights Reserved.



1. 小樽 8.7
2. 江差 8.3
3. 松前 7.9
4. 熊石 7.8
5. 米岡 7.8]
6. 山口 7.7
7. 奥尻 7.6
8. 伊達 7.5
9. 高松 7.5
10. 共和 7.4



2/29 09:00

地上天気図

春の嵐 生活を直撃



降り続く雪が住民生活に大きな影響を与えた2月29日の十勝地方。道路では雪にはまり路上で立ち往生する車や、路外に逸脱した車が各地で見られた。交通機関では、列車の運休や遅れでJR帯広駅が普段以上に混雑。急ぎよ、奥尻下校に切り替える小学校も出た。管内は大雪に翻弄(ほんろう)されたろうの日となった。



道路に雪もたまり、車は立ち往生。日暮後、帯広市で雪にまみれた車が立ち往生した。29日午後3時ごろ、帯広市工業高校前。新井広樹撮影



降り積もった雪で埋もれたバス停留所の看板(29日午後3時ごろ、帯広市工業高校前。新井広樹撮影)

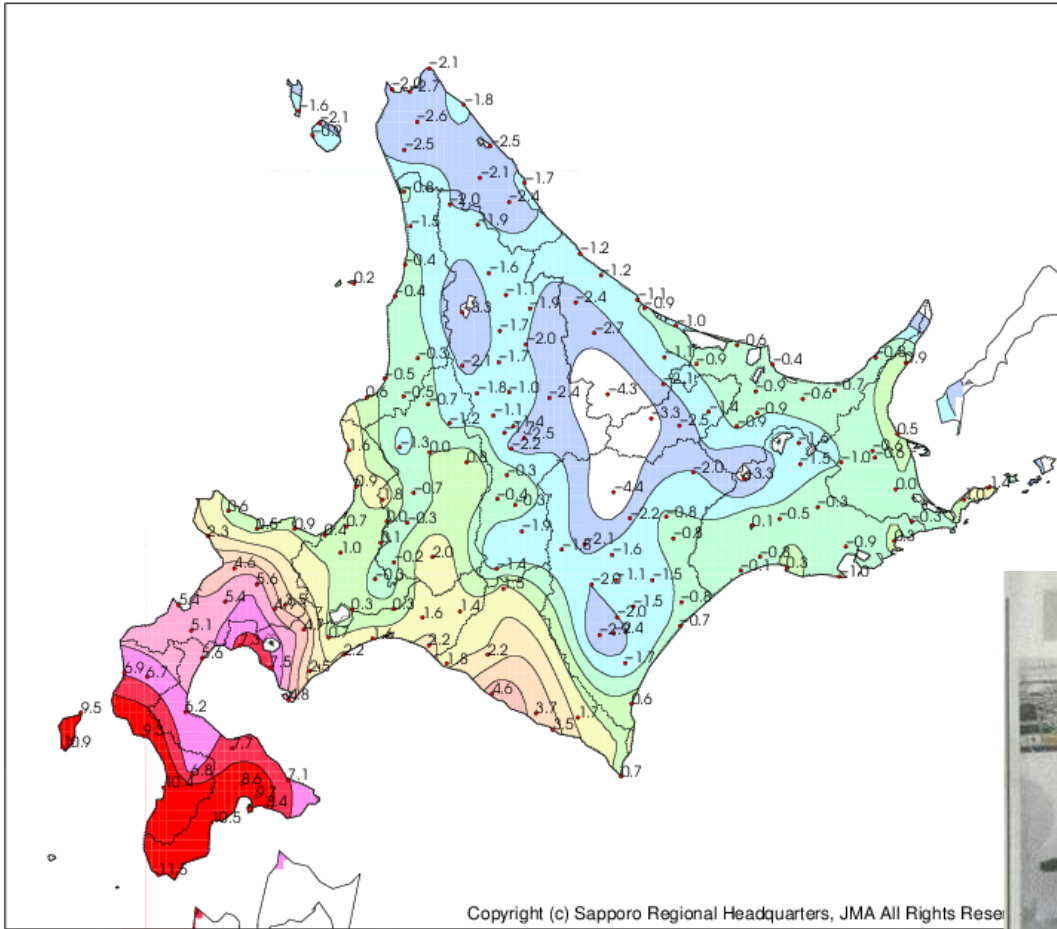


列車の運休や遅れによって、大勢の人が遅延したJR帯広駅の待合室(29日午後2時ごろ、星架和枝撮影)

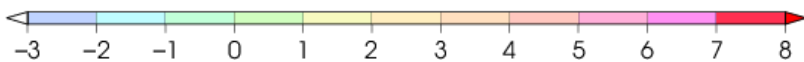
十勝地方の大雪

平成28年(2016)12月22-23日

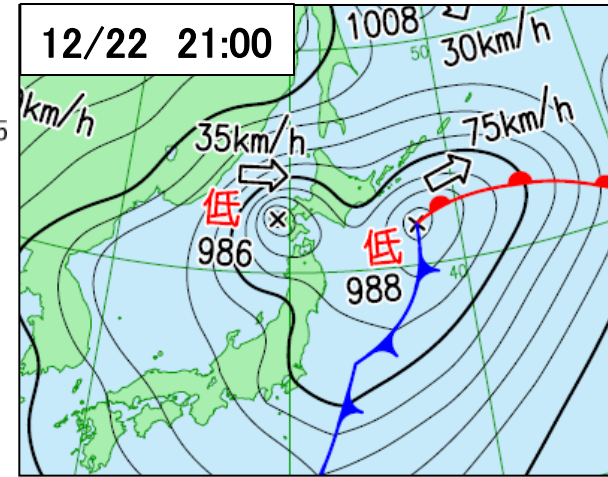
最高気温(°C) 2016/12/22 10:00 - 2016/12/23 09:00



Copyright (c) Sapporo Regional Headquarters, JMA All Rights Reserved



1. 松前 11.5
2. 米岡 10.9
3. 木古内 10.5
4. 江差 10.4
5. 函館 9.7
6. 奥尻 9.5
7. 熊石 9.3
8. 北斗 8.6
9. 高松 8.4
10. 森 7.7



地上天気図



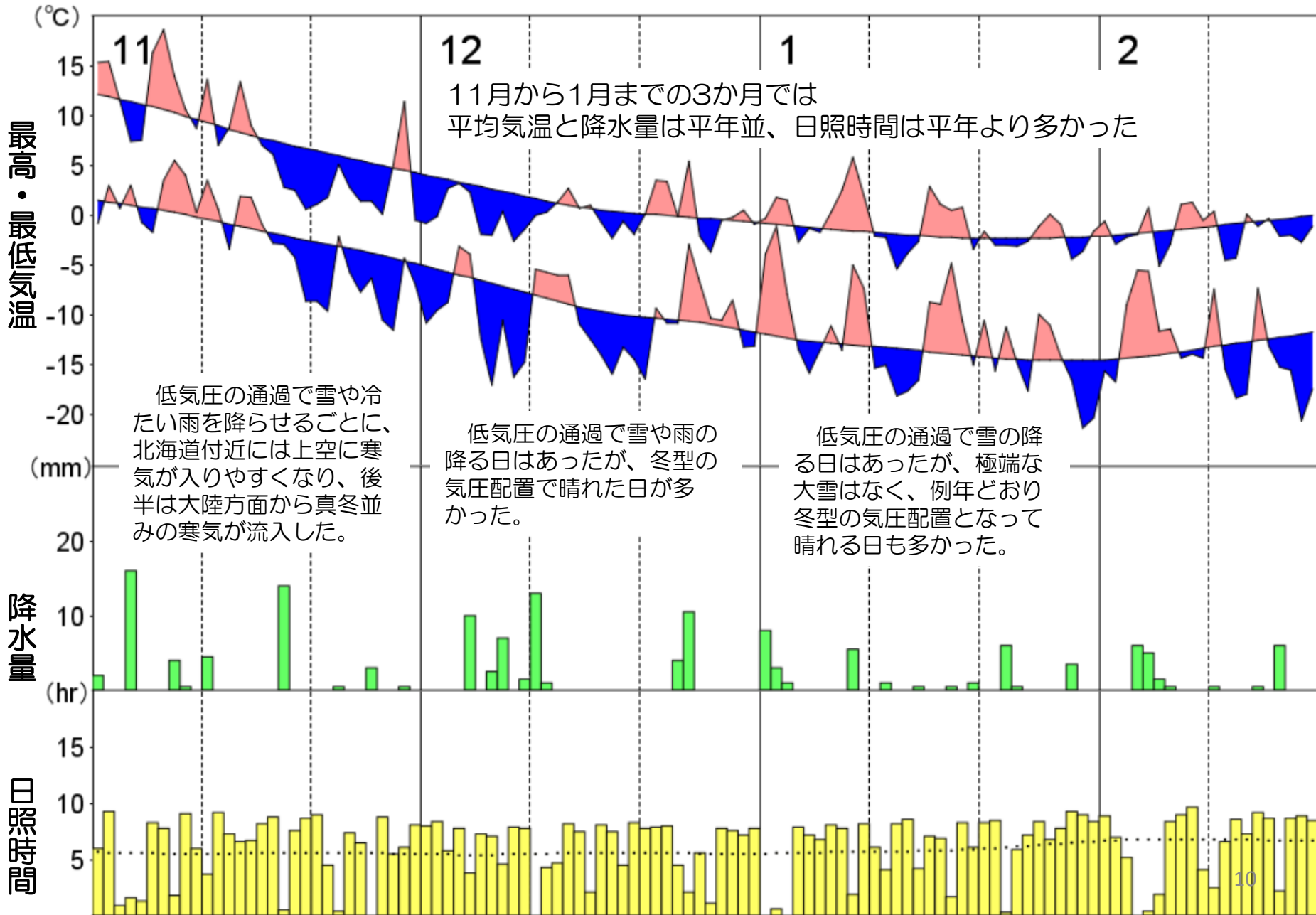
十勝地方特有の滞留寒気

※関東地方(首都圏)の南岸低気圧による大雪も類似のメカニズム

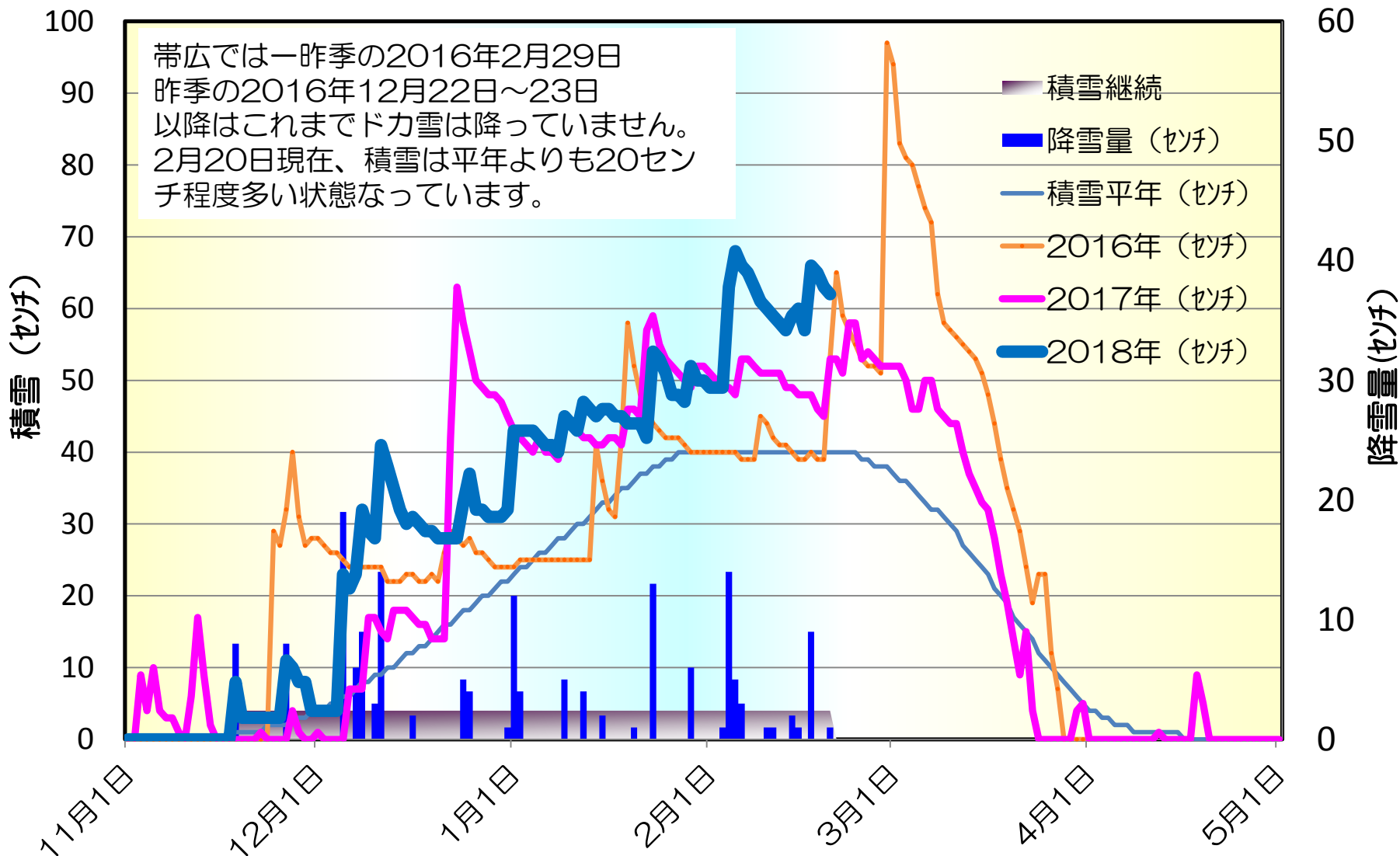


寒気層の存在により
地上は暖湿流が吹き込まない

今冬の帯広の気象経過（11月から2月20日まで）



今冬の帯広の気象経過（11月から2月20日まで）



※各地点の日降雪量や積雪の深さ、累積降雪量の推移グラフなどは札幌管区気象台のホームページで見ることが出来ます。

<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/tenki/kansoku/snow/snowmap/index.html>

向こう1か月の天候の見通し

北海道地方（2月24日～3月23日）

3月は平年よりも低気圧や気圧の谷の影響を受けやすいという見通し。

予報のポイント

- 期間のはじめは寒気の影響を受けますが、その後は南から暖かい空気が流れ込みやすいため、期間の前半は気温の変動が大きいでしょう。また、向こう1か月の平均気温は高い見込みです。
- 気圧の谷や湿った気流の影響により、太平洋側では向こう1か月の降水量は多く、日照時間は少ない見込みです。

週別の天候

(1週目) 2/24～3/2	(2週目) 3/3～9	(3～4週目) 3/10～23
<p>冬型の気圧配置や低気圧の影響により、曇りで雪や雨の降る日がありますが、オホーツク海側や太平洋側では晴れる日もあるでしょう。</p> <p>なお、24日は、低気圧の動向によっては大荒れの天気となるおそれがあります。</p>	<p>冬型の気圧配置は平年より弱いですが、<u>気圧の谷や湿った気流の影響を受けやすい</u>でしょう。</p> <p>日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多い見込みです。</p> <p>オホーツク海側・太平洋側では、<u>平年に比べ晴れの日が少ない</u>でしょう。</p>	<p>冬型の気圧配置は平年より弱いですが、<u>気圧の谷や湿った気流の影響を受けやすい</u>でしょう。</p> <p>日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多い見込みです。</p> <p>オホーツク海側・太平洋側では、<u>平年に比べ晴れの日が少ない</u>でしょう。</p>

向こう3か月の天候の見通し

北海道地方 3月～5月

3月は平年よりも低気圧や気圧の谷の影響を受けやすい。
4月と5月は平年並みに低気圧と高気圧が交互に通過するという見通し。

予報のポイント

- 南から暖かく湿った空気が流れ込みやすいため、向こう3か月の平均気温は高く、オホーツク海側と太平洋側の降水量は平年並か多いでしょう。

この時期の天候に影響の大きい北極振動の予想は難しく、現時点では考慮できていませんので、予報には不確定性があります。常に最新の1か月予報等をご覧ください。

月別の天候

3月	4月	5月
<p>冬型の気圧配置は平年より弱いですが、気圧の谷や湿った気流の影響を受けやすいでしょう。</p> <p>日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。</p> <p>オホーツク海側・<u>太平洋側</u>では、<u>平年に比べ晴れの日が少ない見込み</u>です。</p>	<p>高気圧と低気圧が交互に通る見込みです。</p> <p>日本海側・オホーツク海側では、平年と同様に天気は数日の周期で変わるでしょう。</p> <p><u>太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込み</u>です。</p>	<p>高気圧と低気圧が交互に通る見込みです。</p> <p>平年と同様に天気は数日の周期で変わるでしょう。</p>

夏の天候の見通し

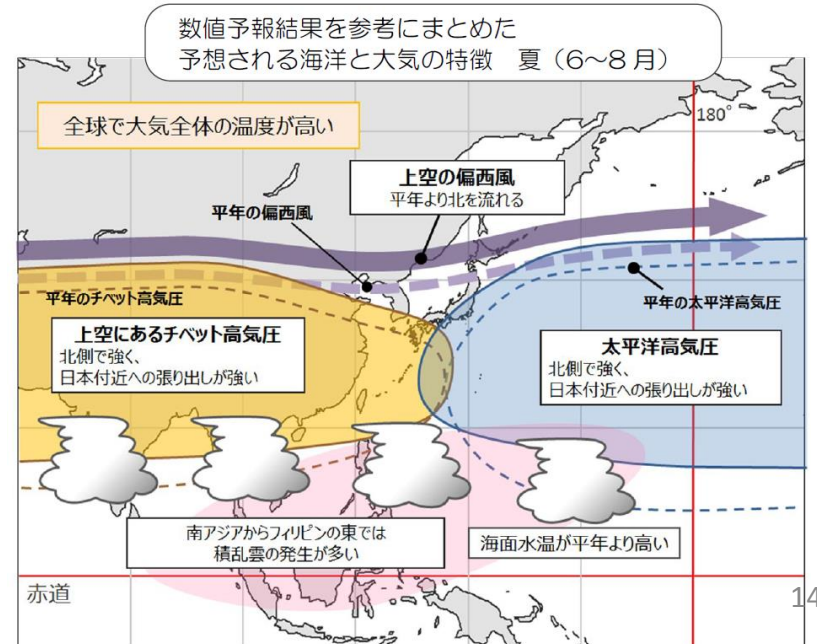
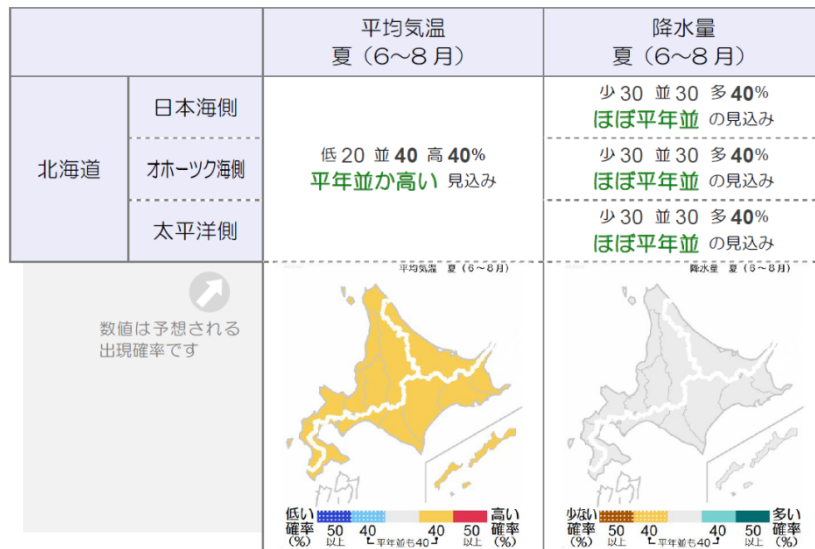
北海道地方 6～8 月

夏は平年よりも暖かい可能性
があるという見通し。

予報のポイント

- 大気全体の温度が高い見込みです。また、太平洋高気圧の北への張り出しが強くなり、暖かい空気に覆われやすいため、夏の平均気温は平年並か高いでしょう。
- 夏の降水量は、ほぼ平年並の見込みです。

夏（6～8月）の平均気温・降水量



- 季節予報は、ある期間の天候（平均気温や、合計降水量など）を平年と比べて予報するものです。
- 基準となる平年とは、1981～2010年の30年間から求めています（10年毎に更新）。
- この30年分の気温を小さい順に並べて、下から10年を「低い」、上から10年を「高い」、真ん中の10年を「平年並」という階級で表わします。
- 季節予報では、この3つの階級になるだろうと予想される確率を予報します。

季節予報の種類

参考

種類

1か月先

3か月先

6か月先

天気予報

週間天気予報

異常天候
早期警戒情報

5~14日
後

毎週月・木曜日に発表検討

 気温  降雪量(日本海側)

1か月予報

1か月

毎週木曜日発表

1週目

2週目

3~4週目

 気温  降水量  日照時間  降雪量(日本海側)

3か月予報

3か月

毎月25日ころ発表

1か月目

2か月目

3か月目

 気温  降水量

暖候期予報

毎年2月25日ころ発表

 気温  降水量

暖候期
6~8月

寒候期予報

毎年9月25日ころ発表

 気温  降水量  降雪量(日本海側)

寒候期
12~2月

※季節予報では大雨や台風、南岸低気圧による雪は予報対象ではありません。